

PDCAサイクルについて

～政策循環の仕組みの強化に向けて～



厚生労働省 医政局 地域医療計画課

第7次医療計画作成指針「第1 医療計画作成の趣旨」について

5疾病・5事業及び在宅医療のそれぞれについて、地域の医療機能の適切な分化・連携を進め、切れ目ない医療が受けられる効率的で質の高い医療提供体制を地域ごとに構築するためには、医療計画における政策循環の仕組みを一層強化することが重要となる。

具体的には、住民の健康状態や患者の状態（成果（アウトカム））を踏まえた上で、医療提供体制に関する現状を把握し、現行の医療計画に対する評価を行い、目指すべき方向（5疾病・5事業及び在宅医療のそれぞれの目指すべき方向をいう。以下同じ。）の各事項を踏まえて、課題を抽出し、課題の解決に向けた施策の明示及び数値目標の設定、それらの進捗状況の評価等を実施する。施策及び事業評価の際には、施策及び事業の結果（アウトプット）のみならず、住民の健康状態や患者の状態（アウトカム）、地域の医療の質などの成果（プロセス）にどのような影響（インパクト）を与えたか、また、目指すべき方向の各事項に関連づけられた施策群が全体として効果を発揮しているかという観点も踏まえ、必要に応じて医療計画の見直しを行う仕組みを、政策循環の中に組み込んでいくことが必要となる。

第7次医療計画の指針「第2 内容」について①

1 医療体制の政策循環

5 疾病・5 事業及び在宅医療の医療体制を構築するに当たっては、住民の健康状態や患者の状態（成果（アウトカム））などをもって施策の評価を行うことが必要なため、これらを用いた評価を行うことが重要である。具体的には、施策や事業を実施したことにより生じた結果（アウトプット）が、成果（アウトカム）に対してどれだけの影響（インパクト）をもたらしたかという関連性を念頭に置きつつ、施策や事業の評価を1年ごとに行い、見直しを含めた改善を行うこと。都道府県は、この成果（アウトカム）に向けた評価及び改善の仕組みを、政策循環の中に組み込んでいくことが重要である。

- アウトカム（成果）
施策や事業が対象にもたらした変化
- アウトプット（結果）
施策や事業を実施したことにより生じる結果
- インパクト（影響）
施策や事業のアウトプットによるアウトカムへの寄与の程度

第7次医療計画の指針「第2 内容」について②

2 指標

医療体制の構築に当たっては、現状の把握や課題の抽出の際に、多くの指標を活用することとなるが、**各指標の関連性を意識**し、地域の現状をできる限り**構造化しながら整理**する必要がある。その際には、指標をアウトカム、プロセス、ストラクチャーに分類し、活用すること。

- ・ **アウトカム指標**
住民の健康状態や患者の状態を測る指標
- ・ **プロセス指標**
実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標
- ・ **ストラクチャー指標**
医療サービスを提供する物的資源、人的資源及び組織体制、外部環境並びに対象となる母集団を測る指標

(参考) 「第3 手順」より抜粋：

医療提供体制等に関する情報のうち、地域住民の健康状態やその改善に寄与すると考えられるサービスに関する指標 (**重点指標**)、その他国が提供するデータや独自調査データ、データの解析等により入手可能な指標 (**参考指標**) について、**指標間相互の関連性も含めて**、地域の医療提供体制の現状を客観的に把握する。

第7次医療計画の指針「第3 手順」について

第7次指針

1 現状の把握

○ 地域の医療資源の把握と**現行の医療計画の評価**

2 圏域の設定

○ 患者受療動向等を踏まえた疾病・事業ごとの圏域の設定

3 課題の抽出

○ アウトカム指標を中心に指標を確認し、緊急度と重要度を検討したうえでの課題設定

4 数値目標

○ 事後に定量的な比較評価可能な数値目標設定、目標達成に要する期間設定

5 施策

○ 課題解決への影響（インパクト）を踏まえた施策の策定

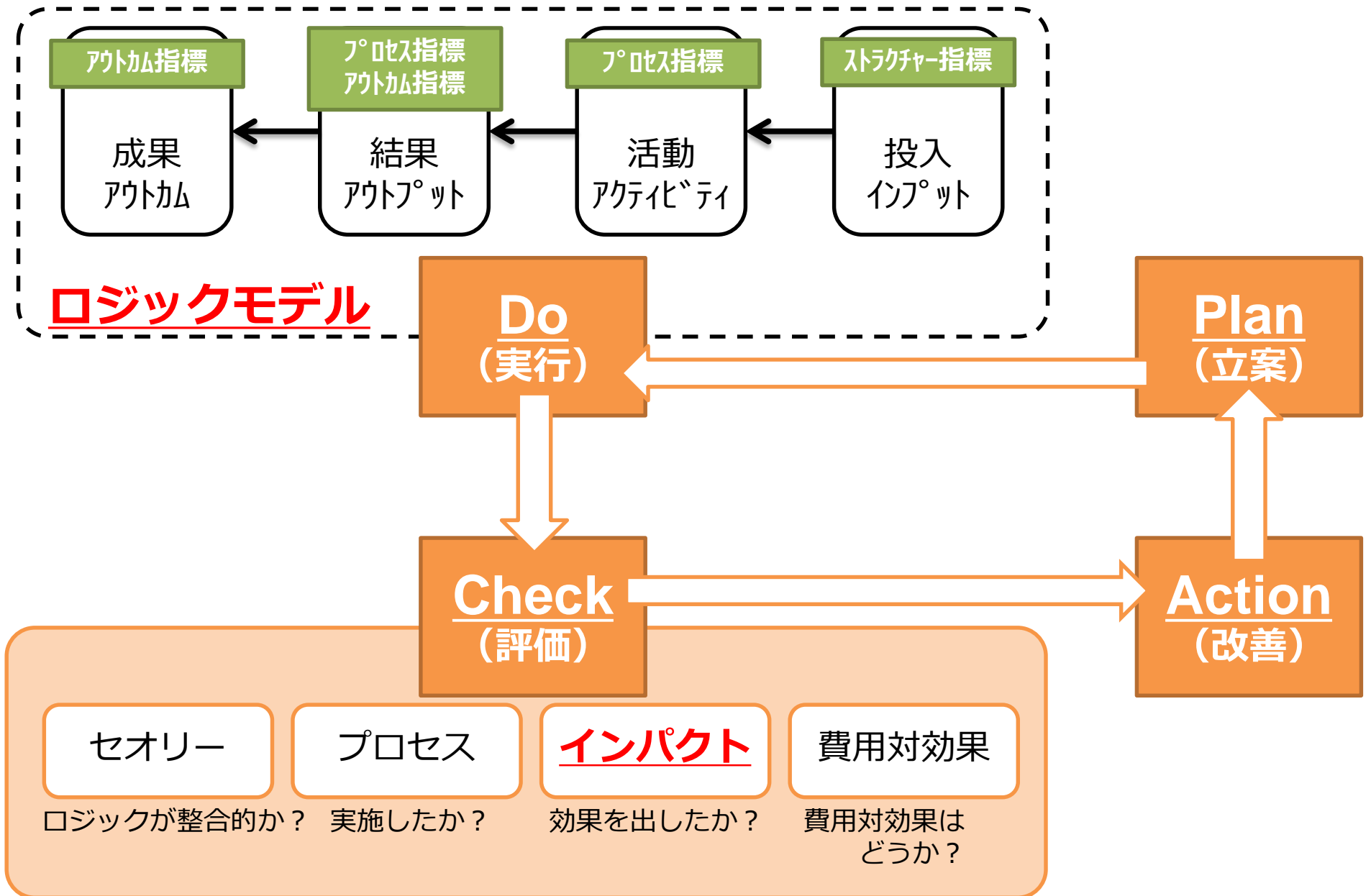
6 評価

○ 評価体制の整備（組織、評価時期、第三者評価、評価指標）

7 公表

○ ホームページ等で指標、課題、数値目標、施策、評価等についての公表

PDCAサイクルの全体像について



PDCAサイクルとその評価について

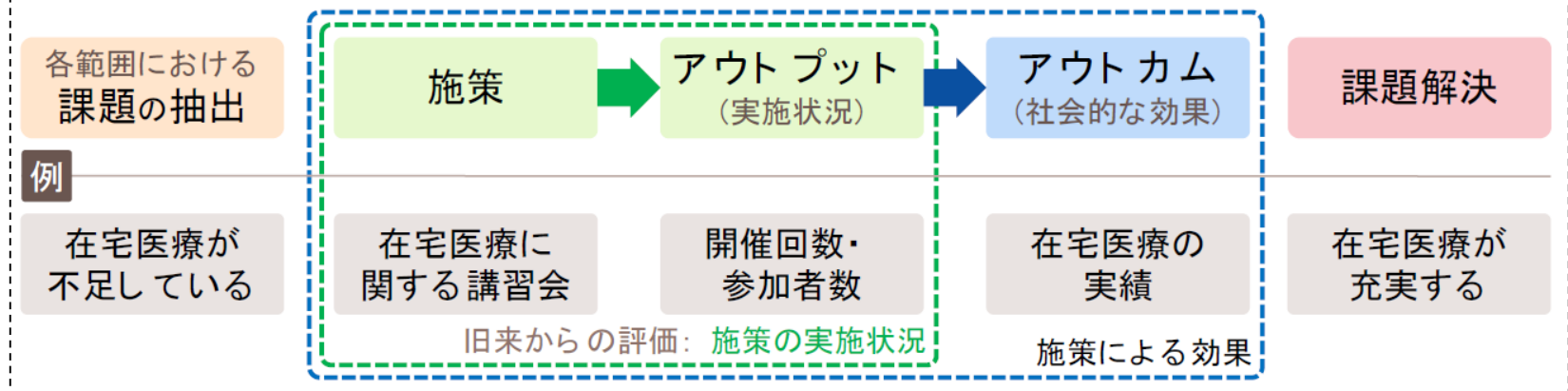
主な用語について

- **PDCAサイクル**：計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を一連の流れで実施し、施策や活動やその成果を継続的に高めていくこと
- **セオリー（理論）評価**：ロジックモデルの質や内容を評価すること
- **プロセス（過程）評価**：決められた施策や活動が予定どおり実施されているかを評価すること
- **インパクト(影響) 評価**：その施策や活動が成果の変化をもたらす効果を生んだか、評価すること
- **費用対効果**：インパクトを費用で割ったもので、効率性を示す

ロジックモデルの設計について

- 各範囲における現状の分析 → 課題の抽出
- 課題の解決に向けたロジックモデルの設計
 - 効果的な 施策を選択
 - 効率的な 施策の実施方法を設定
 - 具体的な 施策の効果指標を設定
- 施策の実行：提案/採択 → 実施 → 事後評価

図4：基金事業が効果を上げていくためのマネジメントの体系化



厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））

「医療及び介護の総合的な確保に資する基金の効果的な活用のための持続的な評価と計画への反映のあり方に関する研究」

平成28年度分担研究報告書より抜粋